

国際コミュニケーション学部

准教授 八島 純



学歴が全く重視されないゲームの世界で、大会優勝回数世界一を誇る東大卒プログラマーがいる。谷ロー、通称ときどだ。

ときどは、幼少期から格闘ゲームに魅せられ、17歳で世界一のタイトルを取るほどのゲーム好きだった。ゲームに熱中する一方で、尊敬する大好きな父親を喜ばせようと東大進学を目指し、一浪の末、見事東大に合格する。東大では研究に傾倒し、国際学会で表彰を受けるほどの成果を収める。そのまま大学院まで進むが、そこで大きな挫折を経験し、大学院をやめて公務員になる道を考え始める。そして公務員試験の最終面接まで進んだとき、プログラマーという職業を知り、ときどは人生の岐路に立つ。安定が約束された公務員とその対極にあるプログラマーという職の選択——好きなのは後者だが、食べていけるかどうかすらわからない世界だ。周囲の人たちに相談するが、ほとんど全員が口を揃えて公務員の道を勧める。そんな中、安定を捨ててプログラマーになる背中を押してくれたのは、ときどの父親だった。

失敗や挫折に直面した際に、ときどは何を学び、どのように行動するのか。ときど自身も述べているように、彼がゲームから学んだ多くのことは、ゲーム以外の世界でも通用することである。ゲームでも勉強でも仕事でも、成果を出すには何が大事か。この本を参考に、自分なりの答えを見つけてほしい。



ときど (2014) 『東大卒プログラマー 論理は結局、情熱にかなわない』PHP新書
生田分館: X/081/P56/938 701655516
Knowledge Base: 798/To31 701655235

